



発行 さむかわ国際交流協会 会長 八坂 眞司
 事務局 寒川町役場 町民部 協働文化推進課
 連絡先 神奈川県高座郡寒川町宮山 1785
 興全寺 菊地
 Tel. 0467-75-6062 Fax. 0467-73-0568
 ホームページ <http://www.shj.or.jp/siea>
 Eメール h.k@shj.or.jp

Samukawa International Exchange Association

No.103

平成 27 年 9 月 6 日 発行

第 4 回訪日文化交流団ホームステイ

広東嶺南職業技術学院・華南理工大学の学生を迎えて

2011 年に始まった中国広東省広州市にある嶺南職業技術学院からの学生の寒川でのホームステイ事業は、今年 4 回目を迎えました。そして、今回は嶺南職業技術学院に加え華南理工大学の学生が合流しての訪日です。7 月 28 日に来日、8 月 6 日の帰国まで、寒川を拠点に日本の市民生活、それを支える行政の仕事、農家の仕事、その他社会活動の一端を見て、感じるものをいっぱい持って帰国しました。帰国後は、家族、友人たちへの報告の中で、日本人一般の生活について話をしてくれていることでしょう。こんなささやかな活動が、隣人同士の相互理解へと発展していくことを願っています。この行事に関わってくださった多くの皆様、ありがとうございました。寒川ホームステイでの様子的一端をご覧ください。

第1日 7月28日(火) 来日



寒川到着。早朝からの長旅に、ちょっと疲れしました。

第2日 7月29日(水) 寒川町めぐり



町行政の現場・町役場、広域クリーンセンター、世界にランを届けるラン栽培農家を訪問。最後は茅ヶ崎へ買い物に。

第3日 7月30日(木) 東京へ



回って寒川帰着。車内では抽選会を楽しみました。

今日は全行程バス。浅草・浅草寺ではおみくじに一喜一憂。江戸・東京博物館、国会議事堂、皇居・東御苑を

第4日 7月31日(金) 鎌倉・江ノ島見学



いざ鎌倉へ。湘南高校の生徒諸君に訪日団のエスコートをお願いしました。まずは鶴岡八幡宮へ。ここでもおみくじが大人気。昨日は凶、今日は吉。小町通でお土産を物色し、食事を楽しんで鎌倉駅へ。次は長谷の大仏様。そして江ノ島へ。湘南高校の皆さんとは弁天橋を渡ったところでさようなら。ありがとうございました。

第5日 8月1日(土) 自由時間(その1)



訪日団の人たちはホストファミリーとどんな時を過ごしたのでしょうか。寒川町町民センター行事“子どもサイエンス”の一環で紙芝居や風船でのバルーンアートが人気でした。

第6日 8月2日(日) 自由時間(その2) 17:30からは歓迎パーティー



八坂会長と木村町長が歓迎の挨拶しました。黒澤議会議長の乾杯の音頭につづいて食事のひと時。

中国ゲストの歌あり、手品あり、ヴァイオリン演奏あり。日本からは文教大学・和太鼓部“楓”の皆さんの演奏。冨先生の挨拶と記念品の贈呈の後、“1本締め”でお開き。

第7日 8月3日(月) お茶会、座禅体験。そして、梨畑訪問。



お茶会。緊張の一瞬。
亭主は福島逸子さん。



“座禅”体験。



梨畑見学。試食しました。
おいしい梨でした。



折紙教室もありました。
先生は中村百合子さん。

第8日 8月4日(火) 今日は横浜へ。



横浜へ行こう。電車の切符を買って。
八景島で水族館を楽しみました。いくつかの演技も間近で見ました。

第9日 8月5日(水) 再び東京へ。



東京都庁。無料で202mの展望台へ。 やっと富士山が顔を見せました。
やっぱり秋葉原、そして原宿へ。

第10日 8月6日(木) いよいよ帰国の日。



お土産で膨らんだ荷物を
持って集合。



いいお土産と一緒に元
気でお帰りください。



またおいで。



広州へ帰ります。
またね。

後日談

- ・8月7日には、成田から発送された絵葉書の礼状がホストファミリーに届きました。心憎い演出です。
- ・帰国が遅い時刻であったにもかかわらず、無事の帰国とお礼のメールが入ってきました。
- ・横浜の花火は見事でした。帰路はJRの架線事故にもかかわらず、相模鉄道への適切な経路変更で、予定より1時間の遅れで帰着できました。こんな事件も、深刻な事態にならなくてよかった。
- ・「日本でも鉄道事故はあるんです。でも怪我人なんかありませんでした。お父さん、お母さんも行ってみたいらしい。」なんて話をしているのかもしれませんが。そう願っています。

ここで訪日団のメンバーの感想を以下に少し紹介します。日本語のおかしいところはお容赦ください。

- ・日本にいる間、時間の速さを感じました。この短い十日間に、日本のことに深く理解できた上、見聞も大きく広めました。もちろん会話にも役に立っています。日本で経験したことも、知り合った方々も、見た物も、全て私にとって大切な宝物になりました。ホストファミリーの方が言ってくれた、「和をもって尊しとなす」の言葉は感動させて、胸に刻みました。今後、私はこの言葉を忘れずに、前に進めます。
- ・同年代の人たちともっと交流したいことです。歓迎パーティーで文教大学の学生さんたちと少ししゃべて、日本の大学生たちは今どんなことを考えているか、彼たちの趣味はなんですか、将来の進路についてどんな考えをしているか、私たちと同じような大学生活をしているか。など、いろいろなことに好奇心があります。

今後の行事予定

ハロウィンプログラム	10月31日(土)	会場;小谷小学校体育館
産業まつり チャリティーバザー	11月22日(日)	会場;寒川中央公園